

看護学部
HORI Taeko
PROFILE
職名 看護学部 看護学科教授
学歴 千葉大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程単位取得後退学（2008）
学位 修士（看護学）（千葉大学、1996）
所属学会 日本小児看護学会、日本小児保健学会、日本新生児看護学会、日本家族看護学会、日本看護科学学会、千葉看護学会、日本災害看護学会
専門分野 小児看護学、新生児看護学

堀 妙子

ほり たえこ

研究課題1 ● 低出生体重児の家族を支援するための継続看護プログラムの開発と評価

研究課題2 ● 在宅療養児とその家族に対する包括的看護システムの開発と評価

業 績

【著書】

『新生児・ハイリスク新生児看護 導入講 家族との対話』／「はじめに：これからの新生児・ハイリスク新生児の看護」「胎児死亡・新生児死亡を経験した家族への援助」「退院指導と退院後のフォローアップ」、テクノコミュニケーションズ、2002年9月、共著。

『新生児・ハイリスク新生児看護 第1講 新生児の日常看護』／「分娩室でのケア」「新生児室でのケア」「NICUへの搬送」「新生児の観察」、テクノコミュニケーションズ、2002年11月、共著。

『系統看護学講座22 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護学総論』／「小児の成長・発達D成長の評価」「新生児・乳児 A新生児」、医学書院、2003年3月、共著。

『系統看護学講座23 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論』／「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護 A看護総論」「新生児の看護 C疾患をもった小児の看護」／医学書院、2003年3月、共著。

『新生児・ハイリスク新生児看護 第2講 ハイリスク新生児の看護』／テクノコミュニケーションズ、2003年6月、単著。

『精神看護エクスペール12こどもの精神看護』／「こどものこころのアセスメントとケア（総論）アセスメントの実際」中山書店、2005年9月、共著。

『初心者のためのフィジカルアセスメント—救急保健管理と保健指導』／「フィジカルアセスメント」、東山書房、2008年3月、共著。

『看護学テキストNICE小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助』／「乳児期の看護」南江堂、2009年4月、共著。

【学術論文】

「未熟児が処置やケアにより受ける影響」／第27回『日本看護学会（小児看護）』、1996年11月、単著。

「未熟児が環境より受ける影響—処置及びケアによる心拍・呼吸・stateの変化—」／『日本新生児看護研究会誌』第4号、1997年3月、単著。

「NICUに入院している低出生体重児の母親のストレスとその対処について」／『日本新生児看護学会誌』第7号、2000年3月、単著。

「排泄管理を必要とする幼児の日常生活の自立とその関連要因—健康児との比較より—」／『日本小児看護学会誌』第10号、2001年2月、共著。

「学童期の二分脊椎症児の母親の養育態度と健康管理への関わりについて」／『日本小児看護学会誌』第11号、2002年3月、共著。

「職業をもつ母親の養育行動と幼児の生活習慣に関する実態調査—規則的な生活習慣に焦点を当てて—」／『小児保健研究』第61号、2002年3月、共著。

「二分脊椎症児と家族のトータルケア—米国の2施設における専門外来の現状と今

後の課題—」／『小児看護』第25巻、2002年8月、共著。

「医療的処置を行っている小児が通院している外来看護の実態と看護師の意識に関する調査」／『日本小児看護学会誌』第11号、2002年9月、共著。

「小児血液・悪性腫瘍疾患の医療面接時における、患者・家族が知りたい情報と医師・看護師が伝えたい情報」／『小児科臨床』第57巻、2004年2月、共著。

「安静にしていることができず持続牽引が困難であった乳児とその家族の事例 バーナードの親子相互作用理論を活用して」／『整形外科看護』第10巻、2005年12月、単著。

「骨肉腫による上肢切断で自己の目標を喪失した思春期の患者の事例 ワトソンの看護理論を活用して」／『整形外科看護』第10巻、2005年12月、単著。

「小児在宅ケアコーディネーター教育プログラムの検討」／『日本小児看護学会誌』第15号、2006年9月、共著。

「小児在宅ケアの意思決定を支えるNICU看護とチームアプローチ」／『小児看護』第30巻、2007年5月、単著。

「葉酸摂取に対する性成熟期女性の反応とその促進に向けた支援」／『小児看護』第31巻、2008年2月、共著。

【学会発表】

「未熟児が環境より受ける影響—処置及びケアによる心拍・呼吸・stateの変化—」／第6回日本新生児看護研究会、1996年11月、単独。

「二分脊椎症患児の養育と母親のストレス」／第10回日本小児外科QOL研究会、1999年10月、共同。

「NICUに入院している低出生体重児の母親のストレスとその対処について」／第9回日本新生児看護学会、1999年11月、単独。

「低出生体重児の母親が退院前に感じる不安とそれに影響する要因について」／第10回日本新生児看護学会、2000年11月、共同。

「二分脊椎症児の母親の養育態度と疾患に関する健康への取り組みについて」／日本小児看護学会第11回学術集会、2001年7月、共同。

「The characteristics of mothers' care for young children with disabilities : The relationship with parenting stress」／Japan Academy of Nursing Science, Forth International Nursing Research Conference、2001年8月、共同。

「医療的処置を必要とする小児の外来看護に関する実態調査」／第48回日本小児保健学会、2001年11月、共同。

「思春期の二分脊椎症患児の排泄管理への取り組みに対する親と子どもの認識」／第19回日本二分脊椎研究会、2002年6月、共同。

「低出生体重児の母親が子どもの成長発達の中で感じる不安について」／千葉看護学会第8回学術集会、2002年9月、単独。

「外来通院中の小児に関する病棟・他職種との情報交換の現状」／第9回日本家族看護学会／日本家族看護学会誌第8号、2002年9月、共同。

「二分脊椎症児の健康管理に対する患児と母親の認識と気持ち」／日本小児看護学会第13回学術集会、2003年7月、共同。

「小児在宅療養コーディネーター研修会に参加した看護師の認識の特徴」／第24回日本看護科学学会学術集会、2004年12月、共同。

「小児在宅療養の支援において看護師がとらえている課題—コーディネーター研修会の事例検討より—」／日本小児看護学会第16回学術集会、2006年7月、共同。

「小児在宅ケアにおけるコーディネーター教育プログラムの評価—看護師の認識の変化を分析して—」／第26回日本看護科学学会学術集会、2006年12月、共同。

「子どもの医療的ケアに関わる保健・医療・教育職を対象とした講習会の有効性の検討」／日本小児看護学会第17回学術集会、2007年7月、共同。